

タイのバンコク・プーケット・ピピ島の小学校で減災教育出前授業を行いました (2017/9/4-9/10)

テーマ：減災教育出前授業

場所：タイ(バンコク、プーケット県、クラビー県(ピピ島))

2015年タイでの出前授業に続いて、バンコク、プーケットとピピ島の5つの小学校で減災教育出前授業を行い、約400人の生徒が参加しました。授業はサッパシー・アナワット准教授(災害リスク研究部門)と保田真理プロジェクト講師(地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門)、野内類准教授(人間・社会対応研究部門)が担当しました。

今回の出前授業は、津波に関する動画や写真を使ったレクチャー、スタンプを用いた防災スタンプラリーや減災ポケットYUIを中心に行いました。授業後には、大判のタイ語で書かれた防災ポケットを各校に配布しました。これらの減災教育出張授業を行うことで、小学生の減災・防災意識が向上することを期待しています。

Srinakharinwirot University と Chulalongkorn University の付属の小・中学校は、バンコク市内にあり洪水の被害が起こりうる学校のため、洪水に関する授業も行いました。プーケットの Baan Kalim School は、2014年・2015年にも出前授業を行った小学校で、前回の授業が好評であったことが確認できました。Ban Bang Neaw School は、中国人コミュニティの中にあり、今後の防災教育における文化やコミュニティへの浸透の重要性を確認しました。ピピ島の Ban Koh Phi Phi School は、2015年にも防災教育を実施した学校で、校長先生をはじめ多くの先生も生徒と一緒に参加し、防災・減災意識を学校全体で高める意欲を感じました。

今後も、IRIDeS の研究成果で得られた最新知見を応用し、様々な国と地域で防災出前授業を実施していきたいと思えます。



左上：減災ポケットとタイ語で書かれた大判のポケットを説明している様子・右上：授業風景
左下：スタンプラリーのスタンプを押している様子・右下：スタンプラリー終了後の様子

文責：サッパシー・アナワット(災害リスク研究部門)

保田真理(寄附研究部門)・野内類(人間・社会対応研究部門)